

質問者氏名	質問事項	質問要旨
12番 石川 栄	1 事業系ごみの収集体制の見直し及び一般廃棄物処理手数料改正後のごみ処理状況について	<p>箱根町においては、ごみ減量化資源化の推進を図るため、平成29年4月から事業系ごみの収集体制の見直し及び一般廃棄物の処理手数料が改定され2年が経過しようとしている。制度改正後、順調に進んでいるものと考えているが、平成30年12月9日、南足柄市において一般廃棄物処理業者による処理手数料不適切処理で行政処分を受けたことが、日本テレビ・読売新聞等で大きく報道され、大きな問題となった。本来、ごみ処理は行政・住民・事業者の相互協力により適正に行われるものであり、憂慮される事態ではないかと思われる。そこで、次の3点について伺う。</p> <p>①制度が改正され2年が経過した、現在のごみ排出量の状況について</p> <p>②一般廃棄物処理手数料の歳入状況について</p> <p>③町は一般廃棄物収集運搬業者に対し、どのような管理指導を行っているか。</p>
4番 川口 延明	1 今後の観光行政について	<p>わが国の人口は、2011（平成23年）年以降減少が続いており、2015年の時点で1億2,659万人の人口は、2040（平成52）年には1億727万人となり、約1,900万人の減少となると推測をされております。当町においても定住者の人口減は国全体の推移に同じくして、減少の道をたどっております。しかし、観光来訪者数は年々増加の傾向が続き2,000万人を超えた状況が今後も継続すると考えます。旅行形態では団体旅行が2割、個人旅行の割合が約8割であると分析されております。こ</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
(川口延明)	<p>2 今後の高齢者対策とその対応について</p>	<p>のような中、箱根の活力をさらに上げるため行政の関係者や観光に携わる方々が日々努力をされておりますが、2027年にはリニア中央新幹線の開業も予定されており、観光客の交通経路の変化が考えられます。そのような中、観光客の利便性と取り込みをさらに図るための策として次の点について伺います。</p> <p>①箱根を取り巻く広域観光エリア等への考え方について</p> <p>②新たな観光ルートへの考えについて</p> <p>③今後の観光地づくりをする中で「観光仕掛け人」登用などへの考え方について</p> <p>かねてより2025年問題として、団塊の世代が後期高齢者に達することにより、介護、医療費などの社会保障費の急増が懸念されております。当町でも財源の不足が続く中で、さらに追い打ちをかけるべく2025年問題が追いかぶって来ます。そこで当町ではどのように対応策を考えるのか、次の3点について伺います。</p> <p>①社会保障費の増加に対する考え方について</p> <p>②高齢者世帯、独居世帯が増えてきている中で認知症発症者への対策について</p> <p>③要介護者の増加に伴う対応策について</p>
13番 折橋 尚道	1 宮ノ下地区公共施設利活用事業について	<p>平成31年度予算には、この事業に関する予算措置がない。宮ノ下地区公共施設再編に関して以下伺う。</p> <p>①住民懇話会を開催して意見調整をして計画を推進してきたが、設計段階に入り結局住民の意見を反映されず受け入れら</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
(折橋尚道)	<p>2 事業系ごみ有料化を実施してからのごみ減量化、リサイクル率等について</p>	<p>れなかった。設計に無理があったのではないか。</p> <p>②住民懇話会委員に受け入れられなかった根本的な原因は、どのようなものか、修正することはできなかったのか。</p> <p>③モデル事業として取り組んでいたにもかかわらず、断念するような事態となった。これからどのようにこの地区の公共施設の在り方を示していくのか。</p> <p>④計画を先送りにすることに対して、懇話会委員並びに住民に誠意ある説明を求めるが、その予定を明確にさせていただきたい。</p> <p>⑤宮ノ下地区公共施設利活用事業に関する今後の方針について、町全体の公共施設再編に関する町の方針について伺う。</p> <p>事業系ごみの有料化以降の減量化とリサイクル率の変化について以下伺う。</p> <p>①減量化とリサイクル率の実際の効果、若しくは現状を具体的に示していただきたい。</p> <p>②有料化後の減量化とリサイクル率向上に関して取り組んできた事業、改善点はどのようなものがあったのか。</p> <p>③どのような状態のごみであっても一律の料金が課せられる。これでは分別に関する実効性がない。分別・リサイクル化を促進するにはインセンティブが無くてはならない。ごみ処理受け入れ料金の差別化、資源ごみに関しては計量前に収取するようにできないか。</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
3 番 勝俣 泰彦	1 Wi-Fi (無線 LAN) 環境の整備について	<p>平成 29 年度箱根町観光客実態調査によりますと、観光客総数は 2000 万人を超え、訪日外国人観光客数も過去最高を記録したとのことであり、箱根町への外国人宿泊者は対前年比 118% で 50 万人を突破したとのことでもあります。国土交通省においては 2020 年訪日外国人 4000 万人の受け入れを目指し、訪日外国人旅行者がストレスなく、快適に観光に満喫できる環境整備に向けて様々な対策を打ち出しているところであります。また、同省観光庁が公表した平成 29 年の訪日外国人旅行者アンケート結果によりますと、旅行中困ったことの第 2 位に無線 LAN 環境が少ないとのことでありました。箱根町におきましても、外国人宿泊者が 50 万人を突破したとのことであり、今後も更なる増客が見込まれるものと考えます。町長の施政方針でも触れられているとおり、国は「インバウンド観光を経済政策の柱の一つ」として掲げております。他方、災害時等においては、電話回線は輻輳するため利用できない場合がありますが、ネット回線においてはアクセスが容易であり、ICT (情報通信技術) の中でも災害に強いツールとして有効であると考えます。そこで、外国人旅行者や観光客等が手軽に必要な情報を入手できるよう、主要な駅・バス停・公園・避難所等が集まる場所に、民間事業者とも連携しながら、無料の無線 LAN を設置し、観光情報や災害情報等を入手できるようになることが重要ではないかと考えますが、町長の見解を伺います。</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
<p>8番 川端 祥介</p>	<p>1 会計年度任用職員制度</p> <p>2 観光公害対策について</p> <p>3 外国人就労対策について</p>	<p>来年4月より始まる、新たな会計年度任用職員制度の内容と、現在の制度との違いについて、また制度改正に関わる整備等進行状況に関してお伺いいたします。</p> <p>近年、外国人観光客の過度な来訪による、住民とのトラブルや迷惑行為など、観光公害（オーバーツーリズム）が叫ばれております。本件に関して、本町の実体と対策についてお伺いいたします。</p> <p>技術の習得と人手不足の解消のため、外国人就労に関する法改正がなされ、今年4月から政府の計画目標に沿って外国人就労者の来日が加速します。生活ルールや情報提供、相談体制など、本町の対応についてお伺いいたします。</p>
<p>11番 遠藤 秀則</p>	<p>1 公共施設の見直しとさくら館の活性化について</p>	<p>先の町長の施政方針において、公共施設等総合管理計画に位置付けられた建物系公共施設を対象として、個別施設ごとに対策の内容や時期等を定める「公共施設等個別施設計画」を策定するとありました。財政状況は固定資産税超過課税の継続により危機的な状況は回避できましたが、今後の財政状況はまだまだ厳しい状況と言えます。今の財政状況において、歳出削減、歳入増加の取組を進めるとありましたが、歳入増加が見えぬ中、公共物の統廃合は早急に進めるべきと考えます。そこで、前にも伺いましたが、日頃より利用が少ない、さくら館の活性化についてお伺いします。出張所をさくら館へ移し複合施設とすることで、利用促進</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
(遠藤秀則)		と活性化、さらには歳出削減もできると考えますが、改めて町の見解をお伺いします。
7番 村野由紀子	1 防災減災対策について	<p>平成7年阪神・淡路大震災や平成23年東日本大震災、平成29年九州北豪雨など、我が国ではこれまでも、地震、津波、台風等による風水害など多くの災害が発生しています。このような経験から、国を初め各自治体では、防災減災に対する意識が高まり、各地でその対策が講じられています。</p> <p>①昨年4月仙石原地区に早川の氾濫が予想され、初めて避難勧告が発令されました。町長は同僚議員の質問の回答で「湖尻水門の開放のタイミングによっては、雨量以上の水が早川に流れ込むことになり、川幅も狭く、蛇行を繰り返す早川の氾濫を招きかねません」と述べております。芦ノ湖湖尻水門操作規則に基づき、小田原土木センターが操作をしておりますが、気候変動が進んでいることから、今後の芦ノ湖湖尻水門操作の対応・対策についてお伺いします。</p> <p>②早川の仙石原地域の水位についても急激な上昇、洪水など心配の声が上がっております。また、河床に草や石、大木等があり、昨年、小田原土木センターに同僚議員と伺い、所長に整備のお願いをした経緯があります。河床の整備の対応についてお伺いします。</p> <p>③備蓄食料等の整備ですが、平成27年3月に神奈川県が発表した新たな地震被害想定に基づいて計画していると伺っています。箱根町は観光客が多く訪れる観光</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
(村野由紀子)	2 役場から始めるイクボスについて	<p>地でもあります。備蓄食料等の内容についてお伺いします。</p> <p>④施政方針に「平成 31 年におきましても新たに 50 名の防災士養成を行い各自主防災組織に 3 名程度の配置ができる体制の構築を目指すとともに、既に資格を取得した防災士に対しましてスキルアップや実践経験、情報共有を目的としたフォローアップ研修を定期的開催し、いざという時に迅速に対応できる人材の育成と支援を行う」とありました。安心・安全な町づくりの取組みや推進についてお伺いします。</p> <p>NPO 法人ファザーリングジャパンの報告の中にイクボス宣言をした沖縄県浦添警察署では、刑事や警察官たちの休暇日数が増え、残業が減り、署内の雰囲気良好になっている。一方で、検挙数が増えるなど結果が出ているそうです。男女問わず、全ての労働者の育児、介護、その他私生活などスタッフの生活事情全般への理解を示すイクボスの存在が大切であると思います。イクボス宣言について町の見解をお伺いします。</p>
1 番 山田 和江	1 消費税増税に反対の表明を求めることについて	<p>安倍政権は今年の 10 月から消費税 10%に引き上げようとしており、どの世論調査でも反対が賛成を上回っている。当町でも増税反対の声は大きい。今回は過去に 2 回延期をした時期と比べても景気が悪化傾向にあることは国会質問でも明らかである。実質賃金は減少し、消費は低迷している。逆進性の強い消費税は低所得者ほど重い負担となり、年金生活</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
(山田和江)	<p>2 加齢性難聴対策について</p>	<p>者には何重もの被害が生じると言われている。また、当町では、固定資産税の超過課税が引き続き4月から継続されようとしていることから、町民の暮らしと営業、地域経済を守る立場から消費税増税に反対の表明を行うことを求め、以下の点について質問する。</p> <p>①町長は消費税増税反対の声をどのように受け止めているか</p> <p>②複数税率の導入について</p> <p>③増税のための景気対策について</p> <p>④今後導入されようとしている「インボイス制度」について</p> <p>⑤医療機関に対する消費税0税率について</p> <p>⑥幼児教育・保育の「無償化」について</p> <p>加齢性難聴になると、日常生活を不便にし、コミュニケーションを困難にするなど生活の質を落とす大きな原因になる。また最近では、老人性うつや認知症の危険因子になるとも言われている。80代の高齢者の9割は補聴器が必要な聴力になっていると言われるが、我が国では補聴器の利用は購入に補助制度のある欧米と比べて低い。それは補聴器が高く、あきらめている人がかなりいると言われていることから、難聴であっても生き生きと老後が送れるように以下の点について質問する。</p> <p>①補聴器購入に補助制度を創設することについて</p> <p>②補聴器の相談体制を作ることについて</p> <p>③ヒヤリング（磁気）ループの設置について</p> <p>④健診に聴力検査を加えることについて</p>

